

## 二番茶期の効果的な炭疽病防除方法

農業研究部

### 1. 研究の背景

ドリンク茶栽培は新芽生育期間が長いため、摘採時期が通常より遅い。このことから、二番茶の品質低下や減収の直接的要因となる炭疽病予防のためには複数回の防除が必要となるが、栽培面積の拡大や梅雨時期の降雨などにより防除タイミングを確保するのが難しい。そこで、ドリンク茶栽培に対応した炭疽病の効果的防除法を開発した。

### 2. 研究成果の内容・普及のポイント

- 1回の防除（混用散布）で複数回の防除と同等の防除効果がある。
- 慣行防除は、萌芽期にダコニール1000、2葉期にオンリーワンフロアブルを計2回散布としているが、2～3葉期に2剤を混用散布することで、散布回数を1回に削減できる。
- 現地活用時の留意点として、①虫害防除を考慮して一葉期に薬剤散布ができなかった場合の代替措置とする。②オンリーワンFLを一葉期に散布しても防除効果を得にくいので避ける。

《試験結果概要》

試験区	防除価	防除価
	(摘採5日前～摘採日)	(摘採5日前～摘採14日後)
ワリワ①(単・萌芽～1葉期)	55.2	46.3
ワリワ②(単・2～3葉期)	86.4	78.0
慣行防除(単・2回)	99.9	89.2
<b>混用防除(混・2～3葉期)</b>	<b>98.7</b>	<b>87.7</b>

※防除価＝100－処理区の発病/無処理区の発病×100

《供試資材、希釈倍数と試験区の構成》

試験区	散布時期：5月31日	散布時期：6月9日	散布回数
	(萌芽～1葉期)	(2～3葉期)	
ワリワ①	ワリワFL(2,000倍)	—	1
ワリワ②	—	ワリワFL(2,000倍)	1
慣行防除	ダコニール1000(1,000倍)	ワリワFL(3,000倍)	2
<b>混用防除</b>	—	<b>ダコニール1000(1,000倍) ＋ワリワFL(3,000倍)</b>	<b>1</b>
殺菌剤無処理	—	—	—

※薬剤散布量：200L/10a

### 3. 期待される効果

- ・二番茶品質の向上
- ・防除にかかる作業時間の削減

### 4. 担当機関連絡先

農業研究部 葉根菜類・茶業チーム  
 TEL：0974-28-2082  
 住所：豊後大野市三重町赤嶺2328-8